

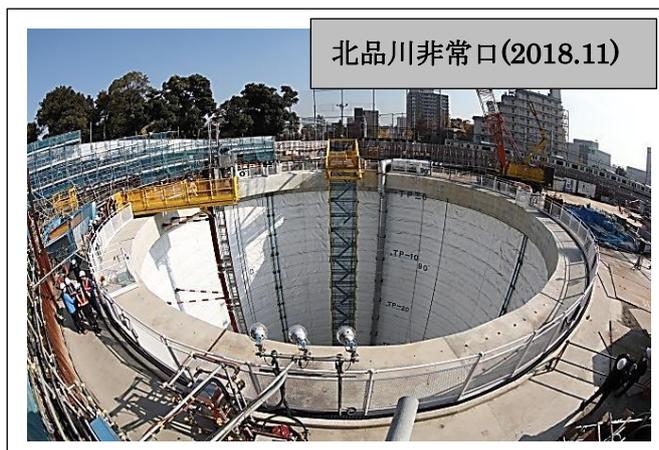
ストップ・リニア！訴訟第13回口頭弁論

被告（国）側はどのようにリニアの妥当性を立証するのか？、傍聴席を埋めて原告側の反論を応援しよう！

期日： 2月8日(金)

時間： 午後2時30分
(開廷時間)

集合： 午後1時15分
(東京地方裁判所)



第13回口頭弁論が2019年2月8日(金)午後2時30分から東京地方裁判所103号法廷で開かれます。法廷では引き続き原告側の主張に対する被告(国)側の弁論が行われる予定です。原告側も、JR東海による長野県での環境アセスなどの疑問について代理人が意見陳述をします。これまで同様に多くの皆さんの結集で傍聴席を埋めましょう。

報告集会で沿線各地のシンポ 法廷では拍手などはしないで静粛に！

<2月8日の行動予定>

- 13:15 東京地裁前集合
地裁前集会
- 14:00 傍聴券抽選
- 14:30 開廷、15:20 閉廷
- 16:00 裁判報告
- 16:30 シンポ
『中央新幹線：
限界技術のリスク』
衆議院第二議員会館多目的ホール
(14:30～1階ロビーで入館証配布)
- 18:15 終了予定



ストップ・リニア！訴訟原告団事務局：問合せ 080-6545-8784 橋本

ストップ・リニア!訴訟第8回シンポ

中央新幹線： 限界技術のリスク



(産経新聞)

地上設置のガイドウェイの安全性、耐久性、 高速リニアの走行の側壁への振動・風圧は?

講演：

武蔵野大学工学部教授

阿部修治氏



〈阿部修治氏〉

東京大学卒。産業技術総合研究所でナノテクノロジーなどを研究。武蔵野大学工学部教授。リニア新幹線の電力消費や安全性に警鐘を鳴らしている。

主催：ストップ・リニア!訴訟原告団、
リニア新幹線沿線住民ネットワーク
問合せ：橋本良仁 080-6545-8784
資料代：500円

2月8日(金)

午後4時30分～6時15分

衆議院第二議員会館多目的ホール

1973年(昭和48年)新幹線基本計画で中央新幹線決定から45年、リニア山梨実験線開始から20年、リニアはいまだに建設に取り掛かった段階で、JR東海が予定している品川・名古屋間の開業も大幅に遅れるものと見られている。

品川・名古屋間286kmにガイドウェイを敷きまくり、時速500キロで疾走するリニアは安全なのか、そして千人の乗客を守るための安全や保守技術は万全なのか?

